

牧草の大量要素欠乏症

(Ⅱ) 牧草の苦土欠乏

*石塚嘉明 **原田 勇 ***林 満



*北海道大学農学部 土壤肥科学教室 教授

酪農大学助教授 *北海道農業

試験場 畜産部草地土壌研究室 技官

Red clover (赤クローバー)

この欠乏症が発現しても草丈、葉形、葉の大きさは正常のものに比して大差ない。症状は下部葉より淡緑色から黄褐色の葉が出現し、欠乏の程度が進むにつれ黄褐色の葉が上部葉に出現してくる。この症状の発現はまず葉の周辺より生じ、漸次内側に向い葉脈に沿って出現するため、葉脈が次第に明瞭となり、その後葉の周辺より褐変してくる。

欠乏草地には部分的に所々に出現するのが特徴であり欠乏症状としては比較的判別し易い。苦土欠乏草地はとくに古い草地に多い。

欠乏症状の出現した草地に対しては刈取後熔成燐肥の追肥が有効であるがその肥効は遅く、草地造成の際には基肥として、燐酸質肥料の半分は熔成燐肥で与えることが望ましい。

上の写真掌上左上の濃緑な葉が正常葉、その下2枚が苦土欠乏葉。



Alfalfa (ルーサン)

症状の出現は下部葉より現われ、漸次上部葉に進んで行くのはRed cloverと同じである。

この症状は葉の先端より黄色となり、その後葉の周辺へ進むと同時に葉脈に沿って内側に向い、葉脈が明瞭に出現してくる。このころには葉の先端は灰白色となり、やがて葉全体が灰白色となって脱落してゆく。

この症状が出現した草は草丈小さく、葉は細長く、やや小型となり収量も減少する。

対策はRed cloverと同じである。

右の写真掌の上右上の小葉2枚が正常葉、その他は苦土欠乏葉。

